

コミュニティセンターまつり

11月5、6日に“コミュニティセンターまつり”が開催され、地区委員会も活動を紹介する展示や『キラキラしゃぼん玉作り』で参加しました。展示を見て「秋の子どもまつりに行ったよ〜♪」と話しかけてくれる小学生、第1回の子どもまつりのアルバムを懐かしそうに見てくださった地域の方など、この地域のまつりとして根付いていることを実感しました。

『キラキラしゃぼん玉』には1日目10名、2日目33名の子どもが作りに来てくれました。最初は細かい作業に不安そうでしたが完成して竹串をくるくる回してキラキラ光るしゃぼん玉ができる(しゃぼん玉に見える☆彡)と笑顔になるのが印象的でした。以前、町五小や南大谷小のお祭りでは毎年作っていたので覚えている中学生がうれしそうなお顔をもち帰ってくるとこちらもうれしくなりました。

“みんなで育てよう地域の子どもたち”の地区委員会の活動は、地域の子どもも大人も笑顔にするものですね(^_^)

<地区委員 宮崎千香子>



南大谷小学校学習発表会を鑑賞して

12月10日、2年ぶりの学習発表会が行われました。

低学年は『くじらぐも』『スイミー』『モチモチの木』を歌や踊り、クイズを交え元気に演じました。高学年はクロムブックを活用し『COOL JAPAN!』『稲を育てよう・合奏』『銀杏プロジェクト』、わかばは『ミュージックステーション』を発表しました。内容、プレゼン方法、司会進行等、生徒主体で準備に取り組みました。

五年生の息の合った合奏は会場を優しい雰囲気包みこみ、六年生は各クラスのプレゼンに対し保護者がその場でスマホから投票する新しい試みもありました。限られた時間の中で練習を重ね、個性を發揮しつつ一致団結して作品を仕上げていました。成長を間近に感じられる素敵な発表会でした。

(地区委員 寺本 梨乃・佐藤 苗子)



10/25

南大谷中学校
合唱祭

12/9-10

町田第五小学校
音楽会



編集後記

サポート隊、募集中!

絆100号と、発行を続けてこられたのも、これまでに多くの方々に、原稿作りのご協力を頂けたからこそと感謝致します。これからもご支援をお願いします。

広報チーム一同



この広報誌「絆」やイベントのチラシは玉川学園地区社会福祉協議会(QR左)及び玉川学園町内会(QR右)のホームページでもご覧になれます



No. 100
2023.3.1 発行
町田市青少年健全育成
玉川学園地区委員会
会長 松香 光夫
seishoken.tamagawa@gmail.com

お陰様で100号を迎えることができました!
これからも地域の子どもたちの様子をお伝えしてまいります。

会長 松香光夫 広報 渡辺綱市

第34回秋の子どもまつりは「とびだせ! 玉学の子どもたち ~たっちゃん まっちゃんとおそぼう~」をテーマに盛り沢山の内容で実施されました。コロナウイルス感染症のため3年ぶりの開催となりましたが、青空の下、校庭内に設けられたイベント会場、お店、遊びのそれぞれの場所で子どもたちの思いっきりの笑顔が溢れこのおまつりをやって良かったと心より感じました。

地域の皆さまの温かいご声援とご協力を糧に実行委員一人ひとりがそれぞれの役割を果たして作り上げた子どもまつりでした。無事に終わることができ、参加ご協力頂いた皆様心から感謝いたします。子どもたちと大人たちの楽しめる行事として来年も再来年もずっとずっと継続していけたらと思っております。

<秋の子どもまつり実行委員長 渡辺綱市>



秋の子どもまつりへの思い ~人と人の繋がりは楽しい!~

子どもまつりがようやく再開され、無事に絆が繋がれたことに安堵しました。今年こそはと、おまわりさんをはじめ常連の関係者に早い段階から声をかけまくりましたが、皆さん気持ちよく駆けつけてくださいました。さらに新規での参加団体やお手伝いも数多く、心より感謝申し上げます。自分の初参加は22年前の第15回目から…わが子も一緒に手伝いをさせてもらうなどお世話になりながら、あっという間に全20回を経ました。

初回に印象的だった子どもたちの輝いている笑顔は、時が流れた今も全く変わっていません。ただ楽しむだけではない、そこには地域の人と交わり、言葉を交わす楽しさがプラスされているのだと感じています。

今年も巡回中に突然「すみませ〜ん。荷物持ってもらえますか?」と小学生。人に荷物を預けて、スーパーボールすくいを一所懸命やりだしました。そう、見知らぬ人と安心して接触できるのがこのおまつりの良さです。

SNSが活用され、互いの連絡方法、参加の仕方は時代と共に変化し、効率性も求められています。が、今後も生で人と人が会話し合うことの大切さ、楽しさを子供たちに伝えられるような子どもまつりであることを心より願っています。

<秋の子どもまつり実行委員会 副実行委員長 船生みどり>

秋の子どもまつり 体験談

今回は貴重な体験をさせて頂きましてありがとうございました。
子どもと関わる遊びだけでなく、設営から片付けまで通して携われたことが良かったです。

今年度ボランティアサークルとしての活動があまり出来なかったこともあり、今回子どもまつりを通して大学の近くの方々と地域交流ができて楽しかったです。普段はなかなか子どもたちと触れ合う機会がないので、今回のボランティアに参加したことで発達年齢に合わせた関わり方を学ぶことができました。子どもたちはどんなことでも一生懸命、好奇心をもって取り組んでいる様子や、楽しそうに参加している姿が見られ、一人ひとりの子どもたちと丁寧に関わりながら笑顔で触れ合うことができとても楽しかったです。多くの子どもたちや地域の方々との関わりの中で、人と繋がることの楽しさ、そして地域の良さを実感しました。

こうした活動の充実は、子どもたちにとっても地域と密接に関われるきっかけとなり地域を大切に作る心が育まれていく素敵な機会だなと感じました。

今回の活動の学びを今後活かし、取り組んでいきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

玉川大学 無果汁juicys

(ボランティアサークル)



わっぱ 回し◎

玉川さくら保育園では、年長児クラスの楽しい活動の一つとして和太鼓を行ってきました。ここ数年は発表の場に苦戦してきましたが、今回は秋の子どもまつりで発表させていただき、とても良い経験の場となりました。

いつもと違った環境の中で行うことのワクワクドキドキ感で豊かな心と意欲を育み、大勢の地域の方々の前でみんなと力を合わせ成功させたときの達成感は格別だったようです。

また、おまつり巡りは演奏の経験と同じくらい楽しかったという子ども達からの報告がありました。子どもの育ちには、地域との連携や交流は必要だと感じます。保護者の方々やたくさんの地域の皆様に子どもたちの頑張る姿をご覧いただき、大変嬉しく思います。

ありがとうございました。

玉川さくら保育園



和太鼓演奏

秋の子どもまつりに参加して、自分が思ったことは、この秋まつりは、ただのお祭りではなく、地域の皆さんと交流をしたり、地域について学べたりする場になっているということです。

特に自分が地域の人とよく交流できたと思ったのは、お神輿や昔遊びをしていた時です。

まず、お神輿では、地域の人のかげ声や、仲間と協力して重いお神輿と一緒に担いで、校庭を回りました。

それは、地域の人や、仲間がいなくてできないことなので、いい体験になりました。

次に、昔遊びでは、地域の人に教えてもらいながら竹馬などをしました。これもここでできない体験だと思いました。

ふだん自分は、秋の子どもまつりが行われた校庭で野球を練習しています。

その場所で、こんないい体験が楽しくできて、とてもよかったです。

ただの祭りではない、この秋祭りは、これからもずっと続けてほしいです。

オールシャインズ主将

渡辺 誉志樹 (町五小・6年)



おみこし(^^)/

秋の子ども祭りに参加して

私は秋の子どもまつりに参加して、人と関わることの楽しさを学びました。

私が担当したヨーヨー祭りでは、自分たちで水風船を作り、売っていたのですが、水風船を作るのがとても難しく、たくさん作るのが非常に大変でした。けれど、小学生や小さい子どもなど、いろいろな人が手伝ってくれたので、無事に作り終えることができました。その後、ヨーヨーを売っていて、ヨーヨー祭りをした人のほとんどが、嬉しそうな表情をしていることに気づき、苦勞して作った甲斐があったと思いました。

秋の子どもまつりに参加して、みんなで力を合わせて一つのことを成し遂げることはとても素晴らしいことだと思い、これからも多くの人と協力していきたいと心がえました。

南大谷中 生徒会本部
萩野 惺



ヨーヨー祭り



子どもまつりに参加して

コロナ前まで行っていた美術部での活動に制限が沢山ある中、今回の子どもまつりはとても良い経験で良い思い出となりました。美術部のお皿作りは夏休みから始まりました。夏休みから努力を重ねて作ったお皿を色々な人に見てもらい、商売をするというのはなかなか無い貴重な体験でした。

小さな子からお年寄りの人まで沢山の方がお皿を見てくれました。「綺麗だ」と言葉をかけて買ってくれたときはすごく嬉しかったです。自分たちの作った物が他の人から良い評価を受けて、認めてもらえたからです。お客さんの人とコミュニケーションがとれたことも、部員同士で協力するためにとったコミュニケーションがとれたことも凄く嬉しく楽しかったです。最終的に全ての皿が完売できてよかったです。さらに部員同士の仲が深まったと感じています。私たちに素敵な機会を与えてくださった多くの人たちに感謝をするべきだと思いました。

南大谷中 美術部
寺本 心寧



焼き物販売

子どもまつりで初演奏

私は秋の子どもまつりで演奏できると聞いて、最初は初めてのことで不安がありました。3年生の先輩方が引退して初めての演奏、そして発表の場だったためです。また初めて「らぼると」の皆さんと合同合奏をするステージもあり、とても緊張しました。

合同練習の中では、テンポの違いがあったり、初めてのメンバーでの演奏ということもあって大変でしたが、次第に楽しい気持ちになっていきました。

子どもまつり当日は思っていたよりもお客さんの人数が多く、両親や先輩方もいて、さらに緊張しました。しかし楽しく演奏することができました。また、演奏を聞いていた先輩からも「よかったよ！」と声をかけてもらえてうれしかったです。とても貴重な経験をありがとうございました。

南大谷中 吹奏楽部
久保 日向花



吹奏楽演奏

みつろうラップ作り

研修事業

11月19日(土)10:30から玉川コミュニティーセンターで南大谷小、町五小の12組の親子でみつろうラップを作成しました。

みつろうラップは、プラスチック製食品用ラップの代替品として近年注目を集めています。食品やサンドイッチ、おにぎりを包んだり、切った果物や野菜を包めば乾燥も防ぎます。身近なところからSDGsに貢献です。

アイロンをはじめて触ったお子さんもいた様子。

お母さんに教わりながら集中して思い思いの素敵なみつろうラップが完成しました！

<地区委員 西森久美子>

作り方

- 1 布地の周りを、ピッキングはさみでギザギザに切る
クッキングシートの上にのせた布に、
- 2 固形のみつろう(事前のみつろう、マツヤニ、ホホバオイルを溶かし固めたもの)を手で小さくちぎりながら、均等に載せる
もう一枚のクッキングシートを布に
- 3 のせ、アイロンで均等のみつろうを溶かしながら全体にのぼす
- 4 熱がとれて乾いたらクッキングシートをはがし、出来上がり！



12月3日に、地区委員の構成団体の代表者の皆様にお集まり頂き3年ぶりに懇談会を開催しました。

町五小の多目的室をお借りし、マスコットキャラクター たっちゃん・まっちゃんや、玉コミまつりで使用した秋の子どもまつりなど活動の様子を紹介したパネルで飾り付け、皆様をお迎えしました。

17団体からご参加頂き、22名でお互いの団体の紹介や課題などを報告しあい、地域で子どもを育てる事を主軸に心を寄せ合う温かいひとときとなりました。中でも印象的だったのは、『参加して活動内容を初めて知った。参加する事の大切さを実感した。』というものでした。またその為にも『あらゆる所での宣伝が必要』とのご意見もありました。

コロナ、働き方改革、少子高齢化、役員成り手不足、いろいろと悩み事の多い時代ではありますが、久しぶりに皆さまと顔を合わせて目を見てお話する機会を得て、ヒントをいただき勇気が湧いてきました。

最後になりましたが、お忙しい中、予定時間を過ぎてもお付き合い頂きました代表者の皆様に重ねて御礼申し上げます。

<会長補佐グループ 大藪真喜子>

代表者懇談会

